

2020年9月7日

「第73回全日本フェンシング選手権大会におけるCOVID-19対策のガイドライン」

—選手のためのチェックリスト—

公益社団法人日本フェンシング協会 医学委員会、強化本部

FJEでは、競技特性に着目して飛沫飛散と濃厚接触についての調査を行い、その結果から以下を本大会におけるガイドラインとする。

・COVID-19の主な感染経路は①飛沫感染と②接触感染である。フェンシング競技での状況は以下となる。

① 飛沫感染	② 接触感染
以下の状況で飛沫は減少する ・フェンシングマスクの装着 ・発声なし ・飛沫ガードの装着	・フェンシングマスク、ユニフォーム、ジャケット、グローブ、シューズ、床に付着した飛沫による

・よって、試合中における、COVID-19の感染リスクは以下となる。

- ・発声による飛沫
- ・衣類、用具に付着した飛沫の接触
- *ただし、濃厚接触（1m以内、15分間）はない**

以上のことより、本全日本フェンシング選手権大会での対策は

① 飛沫感染

飛沫ガード装着が好ましいが、熱中症予防、飛沫ガードの曇りによるパフォーマンス低下予防の観点から、飛沫ガードの装着は義務づけず、出場選手にはCOVID-19の検査を行う。

② 接触感染

通常の感染予防に加えて、道具の清拭、靴裏の消毒、ピストの消毒を徹底する。試合中の汗を拭くためのタオル使用を許可する。

選手のためのチェックリスト

- ユニフォーム、ジャケット、グローブで顔をぬぐわない。
- 試合後に手洗いでだけでなく顔を洗う。
- 道具の清拭を行う。
- 靴裏の消毒を行う。
- 試合後は椅子の清拭を行う。